

地球環境子ども村だより

No.46

令和2年1月31日(金) 発行



寒中お見舞い申し上げます。令和2年も穏やかに明けました。例年よりだいぶ暖かいお正月でした。過ごしやすい反面地球温暖化の影響かと、不安な気持ちも湧いてきます。まず、身近な生活から見直しが必要です。地球環境子ども村でも、更に環境学習やいろいろな実践などに取り組む必要を感じております。みな様、本年もよろしくお願いたします。さて、地球環境子ども村だよりは、11月末から年明けて1月の催しの様子をお伝えします。(=^・^=)

◎これまでの行事報告(12月～1月)

亀岡生き物大学 中級コース 「野鳥教室」



11月30日(土) 午前10時～正午 参加者：28名

講師：八木 昭氏(鳥類保護連盟京都)

亀岡市の平の沢池で野鳥教室が行われました。平の沢池は野鳥の宝庫、今回は冬鳥を中心に観察します。講師は、野鳥の八木さんです。まず、今日見られる野鳥の数をみんなですら予測しました。「17種類！」と大きな声が上がりました。それを目標に池に向かいました。

池には次々カモの群れが下りてきています。私たちが近づくと中央に向かって泳いで行ってしまいますので、バードスコープを使って観察しました。地味でくちばしが黄色、先が黒のカルガモ、頭が緑のマガモ、体の小さいコガモ、と次々カモの仲間が見つかりました。その他、白い大きなダイサギ、黒っぽいアオサギ、池の周りにはカラスもいます。子どもが「なんか変なのがいる!?!」「ヌートリアだよ」



と八木さん、鳥類保護連盟京都から、西井さんと福井さん

カモがぎょうさん居るわ～♪ ↑



も駆けつけて観察のサポートをしていただきました。だんだんみんなの目が慣れて、「ハシビロガモいる!」と、数の少ないカモも見分けられるようになりました。

最終結果として、鳴き声も合わせて24種類の野鳥が観察されました。目当ての一つだったコウノトリは、今日は八木の池に移動して観られませんでした。子どもたちは八木さんが撮影したコウノトリの写真をもらって大喜びでした。

亀岡生き物大学 「閉校式」



12月14日(土) 午前10時～正午 参加者：60名

2019亀岡生き物大学の閉校式が、地球環境子ども村で行われました。学長である、桂川孝裕亀岡市長のあいさつで始まり、子どもたちの自由研究の発表へと続きました。自由研究は、「セミのぬけがらから分ったこと」や、「地球温暖化について」など、子ども研究員の興味や関心を深く掘り下げて調べたり、採集を行ったり、「キツネについて」「コーヒーについて」「ネコについて」など、動物や身近なテーマを取り上げたりと、多岐にわたりました。

また、「蟻について」発表したキッズクラブ員は、実際に自宅で飼育している蟻を展示してくれました。研究員たちは発表後、子どもたちや保護者からのたくさんの質問にも動ぜず、しっかりと答えていました。展示コーナーでは、「小学生でも、良く調べて発表してるね。」「掲示物も上手にまとめて、すごいね。」と、参加者の驚いている声が聞こえてきます。

次は修了証書授与です。名前を呼ばれた研究員が、少し緊張しながら修了書を受け取っていました。7月13日の閉校式から始まった生き物大学、最後にムービー仕立ての「本年度の振り返り」の上映です。参加した教室の画像が次々映り、親子で「あそこ行ったね。」など楽しそうな声が聞こえました。今年のテーマは「☆体験は一生のタカラモノ☆」、そのコンセプトに沿って新しい教室が増え、参加した親子からとても好評でした。アンケートでたくさんの感想やご意見を頂きました。これを活かし、来年も心に残る亀岡生き物大学を企画したいと思います。最後に、ご協力いただいたみな様に心より感謝申し上げます。



修了証書授与「頑張ったね！」 ↑

◎遊びに来たよ!来村報告

1月14日(火)10時半~13時半

千代川幼稚園の年長組さんが、卒園記念の山登りに挑戦しました。入園から3年目、子ども村に沢山遊びに来てくれました。今日が園児として最後の来村です。

背も高くなり逞しくなった園児たち、展望台までの急な上りも頑張って登り、展望台からの眺めを満喫しました。帰ってからお弁当を食べ、氷鬼をして遊びました。

最後に、年長組さんから子ども村にいろいろな思い出を書いたメッセージを頂きました。職員一同、とてもうれしく読ませて頂いています。小学生になっても、また子ども村に遊びに来てくださいね!



千代川幼稚園、見えた? ↑

亀岡生き物大学 特別講座 「平の沢池野鳥観察会」

1月18日(土)午前10時~正午 参加者:13名

講師:八木 昭氏(鳥類保護連盟京都)

令和2年、初めての講座は、平の沢池野鳥観察会です。今回は、鳥類保護連盟京都の探鳥会と合同で行いました。まず、講師の八木さんより今日の観察のポイントの紹介がありました。「下池ではカモの観察を、上池では現在亀岡市に飛来中のコウノトリの観察をします。」との事、下池にはカモの仲間が沢山羽を休めています。八木さんはバードスコープで、マガモ、ヒドリガモ、カルガモなど見つけては子どもたちにのぞかせて特徴を教えてくださいました。ヨシガモは、私もはじめて見ましたが、尾がカーブして緑色

の頭が三角形に見えます。次に、上池に向かいました。幼児を連れた参加者は、歩きが長めで難儀な様子でしたが、着いた上池にコウノトリが二羽見えたので、「みえた!」とても嬉しそうでした。帰り道は、小川のそばを通りハクセキレイや、運の良い人はカワセミも見られたそうです。

平の沢池は「水鳥のみち」として知られていますが、今回ぐるり一周したら合わせて25種類の野鳥に出会えました。コウノトリも観察出来「枝をくわえていたのは、巣作りですか?」という参加者の質問に「二羽ともメスなので、何とも…、練習かもしれません。」と、八木さん。これからはしばらく、平の沢池は注目の的になりそうです。



上池、向こうにコウノトリがいるよ! ↑

☆トピックス「冬の風物詩:ヤマガラ」の餌付け

昨年末から、地球環境子ども村の2か所で、ヤマガラの餌付けを始めました。今年で5年目です。ヤマガラも覚えて、エサ箱にヒマワリの種が入っていないと「ジージー、チィチィ」と鳴いて催促します。最終目標は、「手からエサをついばむヤマガラ」それまで、根気強くヤマガラとの距離を縮めて行こうと思っています。可愛いヤマガラと会えるのは、

2月15日(土)午前10時から正午「ピオトープで野鳥観察」

です。現在、参加者募集中です。

ご参加お待ちしております!



2月のもう一つのイベントは、2月28日(金)午後6時半~8時まで、「亀岡星空観望会☆冬」~冬の星座と月と金星~を行います。募集開始は、2月10日からです。

また、次の行事や催しは、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。インフルエンザが流行っています。マスクの着用、うがい、手洗いを忘れずに! (文責:植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL:0771-26-6100 Fax:0771-26-5002

Email:kodomomura@city.kameoka.lg.jp